

平成29年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	羽越水害復興50年記念事業(阿賀野川・加治川・胎内川水系)	事業経緯	継 続	実施体制	協 賛	担当所属	企画部
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業		事業区分	講座、セミナー、育成	

1. 事業目的

昭和42年の「羽越水害」から50年が経過し、当時の凄惨な状況が人々の記憶から薄れつつある。一方、近年の豪雨は局地化・激甚化し、想定を超える大雨で多くの命が失われている。そこで、あらためて防災対策の必要性を周知するとともに、次世代へ羽越水害の教訓を伝承することを目的に実施する。

2. 事業実施体制

主 催：羽越水害復興50年記念事業(阿賀野川・加治川・胎内川水系)実行委員会
新潟県、新潟市、新発田市、五泉市、阿賀野市、胎内市、阿賀町、
国土交通省阿賀野川河川事務所・飯豊山系砂防事務所
協 賛：新潟県治水砂防協会、新潟県河川協会、(一財)新潟県建設技術センター、
(一社)新潟県建設業協会、(一社)建設コンサルタント協会北陸支部、
(一社)新潟県地質調査業協会、(一社)新潟県測量設計業協会、
(公社)日本技術士会北陸支部、(一社)北陸地域づくり協会、
NPO新潟県砂防ボランティア協会、NPOにいがた地域創造センター
後 援：(公社)土木学会関東支部新潟会、ほか報道12社

3. 事業実施概要

- 巡回パネル展(羽越水害の被災・復興状況等)
 - ・期間：平成29年5月27日(土)～10月22日(日)
 - ・新潟市、新発田市、五泉市、阿賀野市、胎内市、阿賀町を巡回
- 記念シンポジウム
 - ・日時：平成29年8月27日(日) 13:00～16:00
 - ・場所：新発田市生涯学習センター
 - ・基調講演、パネルディスカッション、フォトコンテスト表彰式等 240名参加
- 羽越水害復興インフラツーリズム
 - ・加治川水系コース：6月17日(土)22名、9月20日(水)21名
 - ・胎内川水系コース：7月8日(土)25名、8月4日(金)25名
 - ・阿賀野川水系コース：9月9日(土)21名、9月17日(日)23名
- フォトコンテスト
 - ・平成29年2月28日～6月23日に募集、112作品の応募
 - ・最優秀章1点、優秀賞1点、特別賞3点、入選10点、佳作10点を選出
- 記念植樹
 - ・日にち・場所：平成29年8月28日(月)、阿賀野市安田地区・笹神地区
 - ・両地区の慰霊碑にて黙禱、献花、植樹 61名参加

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

昭和42年8月28日に発生した羽越水害は、死者96名、行方不明者38名など甚大な被害をもたらした。近年の想定を超える大雨への対応には、地域防災力の維持・向上が不可欠で、それには地域の絆が大切となるため、『伝えよう「羽越水害」つなげよう地域の絆』をキャッチフレーズに、多様な事業を展開した。左記の主要5事業のほかにも、関係市町村各地で防災訓練やシンポジウムなど20程度の記念イベントが生まれ、全体の参加者はのべ7千人を超えた。長期かつ広域にわたる事業を通じ、防災への意識啓発や過去災害の伝承といった事業の趣旨が多くの人々に共有されたことと思われる。



巡回パネル展



記念シンポジウム



インフラ
ツーリズム



記念植樹

